

# 老健たより

第9号



明るい笑顔、大事にしたいです。

平成7年度入所利用者状況	2
利用者の声	2、3
老人保健施設に勤務して	3
行事紹介	4
訪問看護部より	5
介護シリーズ—痴呆を知る—	5
気をつけよう O-157	6
新人紹介	6
お知らせ	6
編集後記	6

平成七年四月～平成八年三月

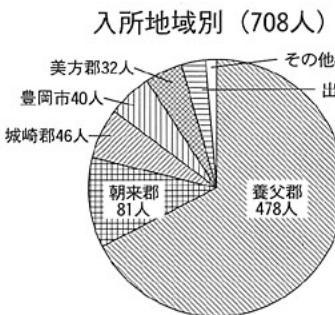
# 入所利用者状況

一年間、七〇八名のお年寄が当施設を利用されました。利用者の地域別、目的、入所前居所をグラフに表してみました。

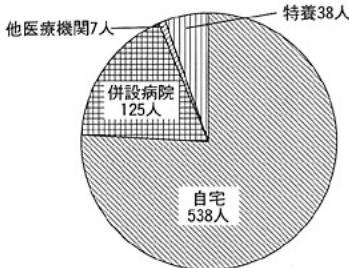
居困難等での利用も一七%とありました。

☆退所先  
利用者の退所先については家庭復帰が八〇%を占め、つづいて特養、併設病院の順である。

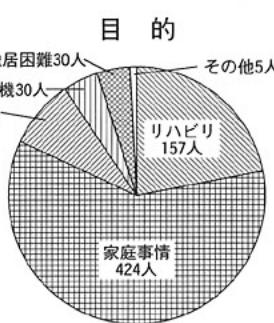
☆地域別利用者  
養父郡が全体の六七%を占め、次に朝来郡の十二%、城崎郡、豊岡市が七%の順である。



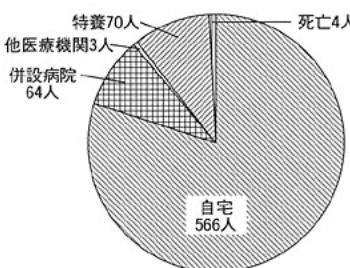
## 入所前居所



☆入所前居所  
入所時の居所では自宅が七六%ともっとも多く、併設病院が一八%の順であった。



## 退所先 (707人)



十八年前建前作業中二階から落下、第十一胸髄損傷両下肢完全麻痺で車いすの生活をしています。当時は、人と接することも苦痛でした。その後、褥瘡ができ八鹿病院で入院のくり返しの生活をしており、三年前より医師から紹介され老人保健施設にお世話をになっています。

訪問看護婦さんに毎週二回

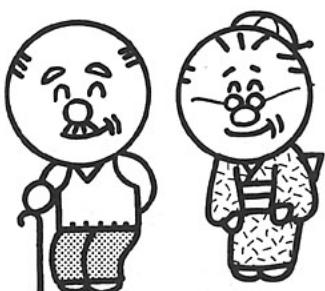
のガーゼ交換、木曜日には早朝より迎えに来て頂き、介護職員さんに手伝って頂き入浴をさせてもらいます。家では褥瘡があるため入浴することも出来ませんが、この施設のおかげで身体も気持ち良くなります。

お昼には、なごやかに食事、手の不自由な方、痴呆症の方など、一人一人にきめ細かに対応しながら食べさせて下さっているのを見て、大変なご苦労があるなあと感じています。午後には、訓練士さんが

## 毎週木曜日が楽しみ

齊藤敏治

人一人に、ていねいにリハビリ指導をして下さいます。寝たきり老人にならない様、みんな頑張って訓練をしていきます。



お昼には、なごやかに食事、手の不自由な方、痴呆症の方など、一人一人にきめ細かに対応しながら食べさせて下さっているのを見て、大変なご苦労があるなあと感じています。午後には、訓練士さんが



お昼には、なごやかに食事、手の不自由な方、痴呆症の方など、一人一人にきめ細かに対応しながら食べさせて下さっているのを見て、大変なご苦労があるなあと感じています。午後には、訓練士さんが

## 利用者の声

# 命ある限り

梅 谷

運動会が始まった。

赤い鉢巻をしめ車椅子で並ぶ。次々に選手が出て競争をする。

僕も妻と車椅子で走った。

小球バケットのポールを中心

に、人と車椅子がひしめき

紅白の球が飛び交う。

人々の熱気がぶつかり合い、

まわりの人のやる気が伝って

きて、僕の心も昂揚してくる

から不思議だ。

大勢の人が、走り、動き、歓

声をあげる。その集団の熱気

の中に自分がいる。

僕も人並みに扱われているこ

とが何となく誇らしい。

これはベッドの上では味わえ

ない生きている実感だな。

人々がいい顔をして運動会を

楽しんでいる。

皆のはずんだ表情がいいな。

老健に居ると人の話が聞こえ

る。人の動きが見える。人との

かかわりがあり、生きてい

る匂いがする。

妻と一人きりの家では味わえない社会とのつながりがある。

病人でも人が人として認めら

れ、残された能力を活かして命ある限り人間らしく生きていく。僕もそうありたい。そんなパワーが、思いやりがやさしさが、ここにはある。

## 老人保健施設に勤務して



小林朗子

老人保健施設について、  
「医療と福祉の中間的な施設」  
であり、「老人の自立を支援  
し家庭への復帰を目指すもの」  
として、生活リハビリに力を  
入れ、家庭的な雰囲気と、地  
域や家庭との結びつきが重要  
である。と説明されています。

高齢化が進む今日、当施設  
は、とても重要な役割を担っ  
ていていることを、感じました。

病院での業務と違い、とま  
どることが多々あります。

しかし、スタッフの皆さん  
の、バイタリティー溢れる仕  
事ぶりを見て、日々感心しま  
した。そこで私は、甘えてば  
かりはいけないと思い、入所

者に対し、「今何をすべきか」

考え、QOLを重視した、自立支援ができるように努力したいと思います。

老健では、様々な職種の方  
と、密接に関わりながらケア  
しています。職種は違ってい  
ても、入所者に対する目的は  
同じと思います。

特にケアプランの時など、  
貴重な意見がきくことができ  
ます。このようなチームワー  
クの良さがよりよいケアに結  
びついていると思います。

今後も、それぞれの専門性  
を生かし協力していくとい  
う思います。

まだまだ未熟者ですが、自  
分なりに努力していきますの  
で、どうぞよろしくお願ひし  
ます。



廣瀬みのり

一年の育児休暇をとり、職場  
復帰が老健となりました。一

年のブランク後の職場復帰へ

昨年四月に女の子を出産し  
一年の育児休暇をとり、職場  
復帰が老健となりました。一  
年の不安と病院勤務から老健勤  
務への不安、さまざま思い  
と緊張感の中で四月を迎えた

しました。約三ヶ月働き感じたこ  
とは、病院では、一日の仕事  
の流れがある程度パターン化  
されているが、老健の一日は

行事、レクリエーション、入

浴介助等、その日その日によ  
り異なり、見る物、聞く物す

べてに新鮮さを感じると共に

看護婦としての、観察力の鋭  
さ、判断力の必要性等責任の

重大さを感じています。

また看護婦ばかりの職場か  
ら介護福祉士の方々と共に仕

事をしていく中で、学ぶ点が  
多々あります。老人に対する

やさしさ、接し方、病院では  
業務におわれ、忘れがちになっ

て、多くの業務をおこなっています。  
老健に入所する目的は様々

ですが、リハビリ目的の方も

多くおられます。病院のよう

に全てのスタッフが十分にか  
かわって利用者の納得が十分

ではない(OTは夕方のみ。  
デイケアは訪問PTの支援を

受けている)とは思います。

しかし、介護・看護職員の理

解と協力を得て、できる限り

のサービスを心がけています。

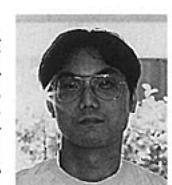
また、写真小僧として、行

事などの記録にもお手伝いし

ています(接写から望遠まで

可能)ので、今後ともよろし

くお願いします。



今井秀樹

にかえり学んでいきたいと思つ  
ています。

# ◇行事紹介◇

なにから食べようかな



お花見会（4月）



ひなまつり（3月）



職員のかわいい?おひなさま  
も登場

お花をつけましょほんぱりに  
く月みんなで大合唱



職員の余興にみんな大笑い



端午の節句（5月）

皆さんで節句のお祝いをしました。



おひなまつり（3月）



ハート形ホットケーキ（2月）

月に一度、簡単な料理やお菓子を作りました。とってもおいしかったです。

## 調理実習



ホットケーキ（6月）



お好み焼（5月）



お好み焼（4月）

## ある老夫婦と 出会つて

在宅介護支援センター

吉田 香

Tさん夫婦は90歳と89歳、子供はなく寝たきりに近い妻をご主人がお世話しながらお二人で暮らしておられます。ある日、ご主人からの電話で「Tさんがトイレの前から動けなくなつた」とのことです。急いで訪問看護婦と共に訪問すると、Tさんはトイレの前ですわりこみ、ご主人はその横で不安な顔をしています。

ここ一年ほどTさんは徐々に足が弱くなつておりご主人に支えられて何とかトイレまで歩いていました。高齢のご主人の介助はとても危なつかしく、いつ二人で倒れるかと手すりをつけることを何度も勧めていますが家を傷つけたくないと拒否されていました。

この日は、トイレの前でふらついたTさんをご主人は支えきれず、一度すわりこんで

Tさん夫婦は初めて老人保健施設のショートステイを利用してきました。十日め、ご主人が「明日二人で帰ろうと思う」と言ってこられました。理由は、老健はとても良い所だけどベースが合わない、これ以上家を留守にすることは心配、ということです。相談を受けた私は、このまま帰ることは前と同じ状態を繰り返すだけであり、「もう少しTさんが動きやすくなるまで待ってはどうでしょう。それともご主人だけ先に帰られたらどうでしようか」と勧めた。するとご主人の返事は「それはこれから余生をどう過ごすかという考え方の観点の違和感だよ。私は一人の暮らせば無理になつたら家政婦さんに来てもらつても家で暮らしたいと思っている」と。

私はご主人の言葉に「そうですね」としか言えず、結局その日一人そろつて退所さ

しまったTさんを引き上げる

れました。

私は、介護者の負担が大きくなつたらショートステイン

く利用してという決まりきつた援助をかけた自分がとても恥かしく、Tさん夫婦に申

し訳なく思いました。

人間生きてきた道、考え方

は人それぞれがいます。一律の支援でみていくとする

のは当然のことながら大きな

まちがいでした。Tさん夫婦は特に近所付き合いも少なく、

二人の生活を大切にし、二人の世界をつくつてこられた方でした。今、訪問看護とヘルパー派遣により毎日の状態確

認しながら暮らしておられます。「妻がえらがるんです」と電話があり、臨時に対応することもあります。介護力は不十分でも、このような方こそがその人の人生観を尊重します。

・活動的だった人が何もない。テレビをボートみている。怒りっぽく攻撃的になる。

五、理屈より感情が優先します。

三、ボケた老人の心を傷つけないこと。

ボケたから劣った人間だと軽蔑した気持で接することはよくありません。ボケでも最後までひとりの人間としてみてあげたいものです。

・喜んだり、怒ったり、悲しんだりする。

六、昼間にくらべて、夜に調子が悪くなります。

七、うつ病と痴呆を間違えな

## 痴呆を知る

介護シリーズ

いようにしましょう。  
年をとるにしたがって、精神的に元気を失くすのは、痴呆によるものだけではなく他にも原因がある。

一、痴呆は脳の病氣で起る。  
二、痴呆はひどい物忘れで始まる。

・財布をおき忘れる。

・同じ事を何度もくり返す。  
三、新しい出来事の記憶、認識力が悪く、古い過去の世界に安住するようになる。

・昔していた仕事の動作をくり返す。

・さっき聞いた事は忘れるが若い頃の事は詳しく話す。

・できることに合わせること。

一、できることに合わせること。

二、安心して最期まで住み慣れた我が家で暮らしていくよう援助していくことが私たちの役割だと思います。

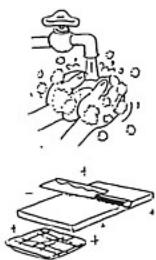


否定や禁止する言葉を使わない

# 気をつけよう！・157

## 予防対策

- ・清潔
- ・細菌をつけるために
- ・食品を取り扱う前や用便後は必ず手を洗い消毒します。



- 二、迅速又は冷却
- 細菌をふやさないために
- 生ものは、できるだけ早く調理し、すぐに食べましょう。
- 法事等の仕出し・弁当等は、持ち帰らずにすぐに食べましょう。

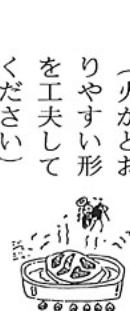


- 四、飲料水の衛生管理
- 水道水以外の水を飲用や調理用に用いる場合は、定期的に水質検査を受けているかどうか確認しましょう。



介護福祉士  
堀井泰造

- ・まな板、包丁、ふきん等は十分洗浄し、熱湯や消毒液で消毒しましょう。
- ・加熱調理済食品等切ったあと直接口に入る食品は、生肉・生魚を下処理したまな板と共に用しないようにしましょう。(仕上用と下処理用まな板の使い分け)



- 三、加熱
- 細菌を殺す
- ・加熱する食品は内部まで十分熱がとおるようになります。
- ・まな板と共に用しないようにしましょう。
- ・生肉・生魚を下処理したまな板と共に用しないようになります。
- ・ハンバーグ等は火が通りやすいように中央部分を凹ます形にしましょう。(火がとおりやすい形を工夫してください)



介護福祉士  
斎藤一憲

(題) 野球  
S 50 • 5 • 29  
一生懸命、仕事を続けて、人から『良い介護福祉士さん』と言われる心やさしい人になりたい。

4月から勤務していますが分からぬことが多い、新しく学ぶことがたくさんあります。一生懸命がんばりますので、よろしくお願ひします。

今年の4月から働かせて頂いています。この頃、少しつ仕事にも慣れてきましたが、まだ未熟者ですので、毎日毎日が勉強です。職場の先輩方に教えてもらなながら、仕事に勉強に励んでいきたいと思います。どうぞ、よろしくお願ひします。



介護福祉士  
井上勝啓

(題) 車・スポーツ・預金  
S 51 • 3 • 3  
一生懸命、仕事を続けて、人から『良い介護福祉士さん』と言われる心やさしい人になります。



介護福祉士  
田畠美佳

(題) 音楽鑑賞・映画鑑賞  
S 51 • 2 • 1

一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。

(結婚)  
守本誠(介護福祉士)  
守本恵子(〃)  
H 8 • 4 • 1

(異動)  
西田三代子(老健→病院)  
田中美幸(介護福祉士)  
H 8 • 3 • 3  
広瀬みのり(〃)  
小林朗子(病院→老健)  
今井秀樹(〃)  
いわゆる立場になつて介護をしたいです。

## 新人紹介

(音楽鑑賞・スポーツ・ドラ  
イブ)  
何事にも一生懸命取り組みいつも学ぶ姿勢を忘れず、入所者の立場になつて介護をしたいです。

## お知らせ

### 編集後記

▷赤トンボが舞う好季節になりました。もう一度健康に注意し快適な生活をしよう!

▷今年は五名の新入職員を迎えるました。利用者の皆さんよろしくお願ひします。

▷老健だよりの発刊に大勢の皆さんにお世話になりました。ありがとうございました。施設と地域を結ぶ機関紙に今後も一層のご協力をお願いします。